

町議選に
挑戦します

「町民が主人公」の町政に 全力でがんばります



このたび、勇退される日野俊一町議の後継者として、町議選挙に挑戦することになりました。私は、建設業をしています。不況で事業が立ち行かなくなったとき、日本共産党にお世話になりました。今の社会は、まじめに働いても「倒産や借金苦で自殺」など、格差と貧困がどんどん広がっています。

山辺町では、住民税の増税に加え、国民健康保険税が17%も引き上げられました。

日本共産党の日野町議は、くらしが大変なとき「負担を減らすことが政治の責任」と増税・負担増に反対をうたっていました。

私は、お年より、子ども、働く人たちが安心してくらしを暮らす町政をめざしてがんばります。お力ぞえをよろしくお願いいたします。

日本共産党

プロフィール (渡辺知広)

略歴

1965(昭40)年山辺町山辺生まれ、42歳。山辺町立小・中学校卒業、県立山形工業高校2部卒業。

現在

党山辺町政策委員長、(株)北幸産業代表取締役、山形民主商工会常任理事、原水爆禁止世界大会東村山実行委員会代表。 家族：長男、母

渡辺 (42歳) ともひろ

渡辺さんを
応援します



県議会議員
渡辺 ゆり子



弁護士・県党議事会長
加藤 寛

自宅 山辺町大字山辺351 (大手町) 電話 664 6941

私の後継者です
力をお貸し下さい

町議会議員 日野 俊一

11期44年の長きにわたり、ご支援に感謝いたします。若くて、行動力のある渡辺くんが私の後継者です。

くらしが大変なときだからこそ、負担を減らし、くらしを応援するのが政治の責任です。



人の痛みがだれよりもわかり、粘り強く、信念をもった人です。ぜひ、私以上に力をお貸しください。

くらし・営業、福祉の願い

町政に届けます

日本共産党 山辺町政策委員長

渡辺ともひろ

町議選の3つの重点政策

日本共産党の町民アンケートに、多くの方が「生活が苦しくなった」と回答し、国保税、介護の負担軽減、子どもの医療費無料化などを求める要望がたくさん寄せられました。くらし、福祉を守るのが地方自治体の仕事です。日本共産党の渡辺ともひろは、この立場で政策をかがげ実現にむけがんばります。

① 国保税引き下げ 介護の負担軽減を

高すぎる国民健康保険税を引き下げするため、国・県の支援を増やすよう求めると同時に、町の減免対象をさらに拡大するため力をつくします。

命にかかわる保険証の取り上げをやめさせます。病人、子どもがいる世帯からの取り上げを許しません。

介護保険料と利用料を引き下げ、安心して介護が受けられるようにがんばります。

福祉サービス券を発行し、介護、福祉で使えるようにします。

② 子どもの医療費 小学校卒業まで無料に

子どもの医療費助成制度の対象を、小学校卒業まで拡大し、入院時の一部負担金の軽減をもとめます

老朽化した山辺中学校の改築を早期にすすめさせます。

私立高校生への授業料の助成、無利子の奨学金制度をつくり、父母負担を軽減します。

③ 住宅の耐震調査 耐震工事に支援を

中越沖地震をこえる地震がおきる確率が非常に高い町です。あらためて総点検し、対策を強化させます。

学校の耐震調査、耐震工事を促進します。個人住宅の耐震調査、耐震工事に町内業者を使った場合、補助する制度をつくり、建設業者の仕事を増やします。

防災組織の立ち上げなど、町民参加で、地震に強い町をつくりたい。

渡辺ともひろの 自己紹介

私は、山辺町でメリヤス業を営む両親の元に生まれ、小・中・高と山辺町で育ちました。高校一年のとき、父をなくし、やむなく山形商業高校を中退し、働きながら山形工業高校の夜間にかよいました。卒業後、所得の安定を求め自衛隊に入隊しましたが、現実離れた訓練に失望し除隊しました。

その後は、友人と運送会社を設立しましたが、多くの負債を抱えて倒産。負債の解決に悩む中、民主商工会の相談会に参加し解決することができました。昨年、いまの建設会社を設立しました。

私は、借金の解決に親身に相談のってもらったので、日本共産党と出会いました。困った人のために無欲で、献身的にがんばる党员の姿に感動し、入党しました。私の人生は、日本共産党がなかったらどうなっていたかわかりません。

「人の役に立ちたい」「社会の犠牲者を救うことができる日本共産党を大きくしたい」と考えているときに、町議に立

候補してほしいと要請され、がんばる決意をしました。

建設業者の代表、子育て世代の代表として、みんなの願いを町政に届けます。

